

Shida Scholarship Program

2024 年度 募集要項

【本奨学金制度の設立の背景及び目的】

京都大学工学部卒業生で米国にて研究を続け博士課程を取得した後、米国に残り高分子科学 (Polymer Science) の分野において大成功を収めた故志田光三氏 (1935-2018) の遺志を継いだご家族とご本人のご意向に基づき、志田氏の母校である京都大学工学部、大学院工学研究科に在籍する学生及び研究者が、米国で更なる高度な研究を継続させることを目的として、本奨学金制度が設立されました。本奨学金制度は、故志田氏のご家族からの寛大な寄付により成り立っております。(故志田光三氏の功績等の詳細は下記のリンクから)

www.kyodai-collaborative.org/wp-content/uploads/2023/10/Dr.-Mitsuzo-Shidas-biography.pdf

【求める人材像】

奨学生として、次に掲げる点を有する学生。

- ・研究内容が明確に決まっており、米国大学や研究機関での研究を継続することで、高度な成果を出すことに高い志を有している者
- ・米国で得た研究成果を留学後に京都大学へ報告し、京都大学との関係性を保持し続ける意思がある者
- ・将来的に日本やアメリカを中心とした国際社会で、当該研究の分野において活躍が期待される者

【対象の学生・留学の種類及び概要】

京都大学工学部または大学院工学研究科の学生を対象に、下記の通り三種類の留学タイプ (それぞれに留学期間、採用人数、奨学金の額を設定) を用意しています。

<研究型>

① 博士後期課程修了予定者 (ポスドク研究)

翌年 3 月までに、博士後期課程を修了予定であり、修了後、ポスドク (博士後研究員) として米国大学の研究室や研究機関での研究留学を志望している者。

② 博士後期課程在籍者 (共同研究)

博士後期課程在籍中に、米国の大学等研究機関で共同研究を行うことを志望している者。

<Ph.D.取得型>

③ 修士課程 (学士課程も可)

翌年3月に修士課程を修了又は学士課程を卒業予定であり、修了・卒業後、米国の大学で自身の研究を引き続き継続し、博士学位の取得を志望している者。なお、本学を卒業・修了後、既に留学を開始し、米国で現在研究を続けている者や本学を卒業・修了し、現在京大で研究を続けている者も対象とする。

【留学期間、採用人数、奨学金の支給額】

詳細は以下の通り。なお、支給額は生活費・研究費・授業料・渡航費等を含みます。

	ポスドク研究	共同研究	Ph.D.取得型
支給期間	原則2年まで	原則1年まで	原則2年まで
採用人数(予定)	2名	2名	2名
年間支給額	USD \$15,000 まで	USD \$15,000 まで	USD \$30,000 まで

【応募資格要件】

次に掲げる要件を全て満たす者とします。

- ・応募時に京都大学工学部または大学院工学研究科に在籍している者或いは同校を卒業・修了した者。
 - ・日本国籍保持者又は永住権取得者。
 - ・奨学生採用内定後、同年(Ph.D.取得型の場合は翌年)から留学を開始する者。なお、本学を卒業・修了後、既に留学を開始し、米国で現在研究を続けている者や本学を卒業・修了し、現在京大で研究を続けている者も対象とする。
 - ・アメリカの大学院又は大学院同等の研究機関で研究を行うことを志望している者。
 - ・Ph.D.取得型の場合は、アメリカの大学で博士学位を取得することを志望している者。
 - ・学業、研究内容が工学系分野に関連していること。
 - ・私費留学であること。現在既に国費留学や企業派遣が内定されている、或いはこれから応募の予定がある場合は、本奨学金は受給できないものとする。また、本奨学金の受給により国費留学・企業派遣の制度の条件によっては、国や企業から資金の支給がなされない可能性もあることに留意すること。
- 他の民間財団、機関等からの奨学金や支援資金の受給が確定或いは予定している場合は、本奨学金制度の応募時点で当該奨学金等の詳細情報を応募用紙に下記内容を記入して申し出ること。(併給は可。)
- 追加の資金援助の為に応募した機関・奨学金制度の名称
 - 応募の時点で判明している奨学金・支援資金の額
- ・英語能力の最低基準(TOEFL/IELTS等の最低スコアラインなど)は設けないものの、英語能力は選考段階において重要な判断基準となる。応募時点で英語の最低水準はないが、選考された奨学生は渡米直前の段階において、渡米直後の生活や学業及び研究に支障を

きたさない程度の英語力を身に付けていることが期待される。

・年齢制限無し。

【その他留意すべき点】

・受入れ大学や研究機関が決まる前に本奨学金に応募する場合は、希望の大学/研究室（アプライする予定の大学/研究室）の第1希望から第4希望までを応募用紙に記載すること。記載の大学/研究室に合格した場合にのみ、選考された奨学生に奨学金が付与されます。

【応募方法】

応募者は次に掲げる書類を PDF 化し、Email にて京大コラボ宛 (contact@kyodai-collaborative.org) まで直接申請すること。

*お問い合わせは r.okayama@kyodai-collaborative.org 岡山まで

- ① 応募用紙（ウェブサイトに掲載の定型用紙を使用すること。）
- ② 推薦書（担当指導教員等、様式任意）
- ③ 研究内容の詳細・重要性について英文で書かれた文書或いは研究論文の概要（A4、2～3 ページ程度、将来の目標とキャリア志向についても最後に触れること。）
- ④ 卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込み証明書
- ⑤ 成績証明書（直近と一つ前の在籍課程のもの）
- ⑥ 留学・研究先の合格証明書、受入承諾書（応募時に既に合格・承諾を得ている場合）
- ⑦ 語学試験（TOEFL/IELTS 等）のスコア票（コピー可、応募締切時の2年前までに発行されたもの）

≪提出期限≫ Ph.D.取得型・共同研究型： 2024年10月31日（木）米国ET 必着
ポスドク研究型： 2025年 1月31日（金）米国ET 必着

【選考・採用内定プロセス】

選考プロセスは下記の通り。

- ① 一次審査：書類選考（Ph.D. 取得・共同研究：2024年11月頃実施、ポスドク研究：2025年2月頃実施）
- ② 二次審査：面接（Ph.D.取得・共同研究：2024年12月頃実施、ポスドク研究：2025年3月頃実施）

面接は一次審査合格者を対象にオンラインにて実施。

二次審査の具体的なスケジュールについては、一次審査合格者に対して別途 E メールにて連絡します。二次審査合格者を本奨学金制度の内定奨学生として、Ph.D. 取得型・共同研究については2024年12月31日まで、ポスドク研究型については2025年3月31日までに決定します。

以 上